

平成29年度第2回花巻市立図書館協議会 会議録

1 開催日時

平成29年11月6日（月）午前10時～午前11時15分

2 開催場所

花巻市立花巻図書館1階 会議室

3 出席者

(1) 委員 10名

坂本知彌会長、門馬優子副会長、菊池一英委員、加藤暢之委員、市川浜委員、高橋則子委員、日下明久美委員、佐藤三恵子委員、高橋久美子委員、伊藤明德委員
※欠席者1名（佐々木さつき委員）

(2) 事務局 6名

晴山花巻図書館長、吉田大迫図書館長、盛田石鳥谷図書館長、久保田東和図書館長
伊藤花巻図書館業務係長、菊池石鳥谷図書館主査

4 傍聴人 1名

◎次第及び協議内容等

- ・会議成立の報告（晴山花巻図書館長）
- ・委員11名中10名出席。出席委員が構成員の過半数を超えているので、花巻市立図書館協議会規則第7条により本会議が成立することを報告。

1 開会（晴山花巻図書館長）

2 あいさつ

（坂本知彌会長）

お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。今日は、事業の進捗状況、そして、来年度へ向けての図書館運営に対して皆様のお知恵、ご意見を沢山頂戴いたしまして、良い会議になりますように、どうぞご協力よろしく願いいたします。

3 議題（花巻市立図書館協議会規則により会長が議長となる。）

(1) 平成29年度花巻市立図書館事業実施状況等について・・・資料1

- ・平成29年度花巻市立図書館事業実施状況等画について（平成29年度上半期の実施状況を）花巻図書館から順番に説明する。

花巻：伊藤業務係長、大迫：吉田館長、石鳥谷：盛田館長、東和：久保田館長

(坂本知彌会長)

各館からご説明いただきました。これについて、ご質問ございましたらお願いいたします。

(高橋久美子委員)

大迫図書館の事業について、平成28年度は出前お話し会というものがなかったが、今年度、児童クラブに毎月出向しているとのことですが、子供達の反応はどうだったのでしょうか。

(吉田大迫図書館長)

児童クラブの子供たちは、7人から14人ぐらいで、夏休みは、多かったです。男女、学年が様々ということで、選書は難しいところがありました。子どもたちには真剣に聞いていただきましたが、宮沢賢治については、ちょっとむずかしかったかなと思っています。

(高橋久美子委員)

図書館の宣伝にもなりますし、本に興味を持ってもらえれば、図書館へ行くきっかけづくりになるのかなと思います。

(坂本知彌会長)

他にございますか。

(門馬優子委員)

大迫では、読書ボランティアの方々はいらっしゃいますか。

(吉田大迫図書館長)

高橋則子委員さんをはじめ、「たんぽぽの会」の方々に加え、大迫の図書館職員も、図書館や学校で読み聞かせ等を行っています。

(高橋久美子委員)

花巻図書館にお聞きしますが、バリアフリー映画界を開催したようですが、どういうものか教えていただけませんか。

(伊藤花巻図書館業務係長)

市の職員、2名が映画の内容をスクリーンの横で手話をし、鑑賞者へわかりやすく映画を見ていただくというものです。

(高橋久美子委員)

7人の参加のようでしたが、少なかったようですが、今後はどのように行う予定ですか。

(伊藤花巻図書館業務係長)

今回のバリアフリー映画界については、広報、施設へのお声掛けをしたものでしたが、今後においては、日程の設定という部分でも課題があったと考えておりますことから、施設関係者の方々とお話しをさせていただきながら実施していきたいと考えています。

(加藤暢之委員)

大迫図書館に質問します。5ページの中段のところの中学生が選んだおすすめの本というところがありますが、学校との連携で行ったものでしょうか。

(吉田大迫図書館長)

体験学習に来た際に選んでいただいたものです。

(加藤暢之委員)

19冊ということで、大変面白いというか大人が推薦したものではなく中学生が推薦してい

るということは大変大事なことはないかと思えます。因みに、子供たちがどういう本を選んだか聞かせていただければ。

(吉田大迫図書館長)

今年は、男子中学生で、暗いところで待ち合わせ(乙一)、ここはボツコニアン(宮部みゆき)、幽霊博物館(赤川次郎)、ぼくは勉強ができない(山田詠美)などで、去年は、女子で、ハリーポッター、赤毛のアンでした。

(加藤暢之委員)

子供たちが推薦するのは面白い企画で、選んだ後は。

(吉田大迫図書館長)

ポップを作成しています。中学生が作ったものは、ほかの中学生も興味を持つようで、その作家の場所なども見ているようです。

(坂本知彌会長)

他にございませんか。

(日下明久美委員)

職場体験についてですが、各館でどのようなことを体験させていますか。

(坂本知彌会長)

それでは、花巻図書館からお願いします。

(伊藤花巻図書館業務係長)

毎年何校かいらっしゃっていただいています。体験内容は、カウンター業務、ラベルの貼り替え、本の修理、それから、先ほども出ましたが、中学生のおすすめの本、そして、ポップづくりをして展示までしていただいています。

(吉田大迫図書館長)

花巻と同様、カウンター業務、本棚の整理、おすすめ本をやっていただいています。

(菊池石鳥谷図書館主査)

何校か来ていまして、カウンター業務、本の整理、今年はできなかったんですが、環境整備ということで、図書館の周りの草取りや、本をきれいに拭いていただいておりますし、企画展示のディスプレイに折り紙を折っていただけて飾りつけ、あとは、簡単なビブリオバトル風ということで、お互い本の紹介などをしています。

(久保田東和図書館長)

今年は、花北中2名、東和中2名、体験学習に来ています。内容は、花巻図書館と同様、おすすめ本を選んでいただいています。来館者の皆さんには大いに興味を持っていただいております。

(日下明久美委員)

他の地域にも行くんですか。

(吉田大迫図書館長)

大体は、地元に行くと思いますが、日程等により他地域にも行くようです。

(坂本知彌会長)

他にありませんか、ご意見でも結構ですが、ないようでございますので、(1)の平成29年

度花巻市立図書館の事業実施状況等については終了し、続いて、(2) 読書おもいで帳の交付拡大についてを議題とします。それでは、事務局説明をお願いします。

(2) 読書おもいで帳の交付拡大について・・・資料2

・晴山花巻図書館長資料に沿って、発行状況、平成30年度に向けての進め方について説明
(坂本知彌会長)

それでは、質問意見等、ございませんでしょうか。

(伊藤明德委員)

読書おもいで帳について、最初、どうかなと思っていたが、オープニングセレモニーで、子供たちの喜んでる姿を見て、いいものだなと感じている。先ほどの説明で、読んだ本が記録に残っていいという声があったとのことであるが、年代年代で、また、同じ本を読むこともいいことだと思っている。

(市川浜委員)

読書おもいで帳の発行に伴い、数字では現れないものも大事だと思う。通帳を発行して子供たちの状況などどう捉えているか伺いたい。

(晴山花巻図書館長)

各方面からお話しを頂戴しています。まず、最初に出るのが、おもしろい、楽しい、という言葉が一番多いと思います。この読書おもいで帳は、読書をしたいと思っている子供たちに、きっかけを与えてあげる一つのツールであると思っています。

委員ご存知のとおり、花巻市子ども読書活動推進計画では、家庭・地域・学校・行政が一体となって子どもの読書環境を造るとしております。まさに、連携した中で始めたものであり、今後において、読書を通じ、大人になる過程で、有意義なものとなっていくよう努めてまいりたいと考えています。

(佐藤三恵子委員)

ボランティアで学校へ行っている、学校の父兄から、本によっては、こっそりと借りて、こっそりと返したいと思うこともある、また、年代によっては借りている本を知られるのが嫌だと思う子もいる、それが、記録として残るのはどうかと思う。

(坂本知彌会長)

読書思い出帳は、自分で記録するものであり、記録したくないものについては、記帳しなければいいですよ。

(佐藤三恵子委員)

全部出ると思っているようだ。

(晴山花巻図書館長)

通帳の仕様になると思う。これも課題であると捉えており、今後これも含め、周知を図ってまいりたい。

(坂本知彌会長)

小学校低学年には説明しても難しいようであり、お父さん、お母さん方へ説明していかなければならないと思う。

(高橋久美子委員)

図書館へは、親たちが子供たちを連れてくることが多いと思います。やはり、交付拡大を図るのであれば、親への啓もう活動がいいと思います。

(佐藤三恵子委員)

石鳥谷のポラーノではできるんですか。

(菊池石鳥谷図書館主査)

移動先の学校で通帳を預かり、記帳して学校へ届ける形となっています。

(加藤暢之委員)

素晴らしい事業だと思っています。是非、継続して行っていただきたいと思っています。

私も、日ごろ学校図書館へ生徒が顔を出すとほっとしている状況で、中学生になると部活等で忙しい毎日を送っているのが現状であり、なかなか、市立図書館へはいけない状況であると思っています。できるのであれば、市の職員の方々が、おいでいただき説明をしていただくなど、やはり、先生方もうまく説明できないのではないかと考えているところもあり、普及させるための具体的方法を考えていければいいのではないかと考えています。

(佐藤三恵子委員)

人が多く集まるときに説明するのがいいと思うので、PTA総会で説明するのがいいと思います。

(晴山花巻図書館館長)

ご意見を頂戴しました。どういう方法がいいか、各方面からご指導いただければと思います。

(坂本知彌会長)

大人もつくりたいと思っている人が多いと思いますが、大人にも発行することはできないでしょうか。

(晴山花巻図書館館長)

大人にも発行するとなると、即答はできませんが、クリアしなければならないものがあるのか、ないのか、研究させていただきたいと思いますが、趣旨は、理解しておりますし、時間を頂戴し、検討させていただきます。

(坂本知彌会長)

そのほかございませんか、ないようですので、次に進みます。

(3) その他、平成30年度図書館運営に関する要望等についてを議題とします。事務局説明願います。

晴山花巻図書館館長説明

(坂本知彌会長)

それでは、何かございますか。

(佐藤三恵子委員)

学校図書館支援員の方には、ご指導、ご協力をいただいている。いろんな面で助かっている。この場で言うことではないと思いますが、1人というのは少なすぎると感じます。増員できないものなのでしょうか。

(晴山花巻図書館館長)

図書館運営を考えましても学校図書館支援員の方といろいろ連携していかなければならないと思っております。

今ご意見の増員については、ここでコメントする立場にないことですので、教育委員会へお話があったことについて、報告させていただきます。

(坂本知彌会長)

富士大で実施された「図書館がまちを変える(図書館と街づくりを考える)」があったんですが、私、都合で行けなくて、図書館で企画実施できないものでしょうか。

(晴山花巻図書館館長)

図書館と地域は密接な関係があり、現在、新図書館構想があり、非常に大事なことだと思います。来年度実施できるか検討させていただきます。

(伊藤明德委員)

事業を行っていくうえで、指標を設定するなど、数値化が必要になってきている。それにより、事業を評価し、必要性を考えていかなければならないものではないでしょうか。

(晴山花巻図書館館長)

おっしゃる通りだと思います。図書館の事業においてもすべてではありませんが、指標を設定しているものがあります。今後において、それを評価し、スクラップアンドビルドしていかなければならないと考えております。

(伊藤明德委員)

レファレンスは結構あるものか。

(伊藤花巻図書館業務係長)

花巻図書館については、宮沢賢治、郷土関係について、結構あります。

(盛田石鳥谷図書館長)

本というよりも、県内の歴史・地理を調べているのが多いようだ。そして、時間がかかるのが多い。

(坂本知彌会長)

他にありますか。ないようですので、大きい4番、その他ですが、何かありますか

(晴山花巻図書館館長)

新花巻図書館についてですが、ご存知のとおり、今年、構想を策定し、来年度までに基本計画を策定することにしていきます。策定主管課は生涯学習課でございますが、市立図書館では、内部の配置等、職員目線で効率的な業務遂行ができるよう話し合いを持ち、ある一定の結果をまとめたいと思っております。また、その結果については、基本計画の中に入れ込んでまいりたいと思っております。以上、ご報告させていただきます。